

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.98

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	中心市街地活性化推進事業	担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	中心市街地活性化法、都市計画法、大店立地法、鳴門市中心市街地活性化基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成	12 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		市街地					
施策	2	活気に満ちた市街地の形成					
基本事業	2	中心市街地の賑わいの創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	中心市街地の活性化を図り、事業所の所得向上を目指す。		事業内容 (R1)	大道商店街にて「100円商店街」(2回)・「納涼市」を開催し、商店街に立ち寄る機会を作った。				
実施方針	①中心市街地での賑わいの場を創出する。 ②鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、中心市街地活性化事業を実施する。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	中心市街地での事業実施回数		5	4	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	中心市街地活性化事業の実施	中心市街地活性化事業の実施	中心市街地活性化事業の実施	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
	計	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額	700	700
		700	0	700	700	700

事務事業名	中心市街地活性化推進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容 大道商店街にて「100円商店街」(2回)・「納涼市」を開催し、商店街に立ち寄る機会を作った。						
指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	中心市街地での事業実施回数	4	3	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)		100.0				%
事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計	969,784	0	700,000	0	700,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	969,784	0	700,000	0	700,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	中心市街地での事業実施回数		成果指標に対する所見	各事業の実施により、中心市街地のにぎわい創出につながっているが、効果が持続しない。そのため、事業のあり方や内容を見直す必要がある。		
	目標	3	件				
	実績	3	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	中心市街地活性化事業は、市民に親しまれている事業であるが、毎年同じような事業で、目新しさが薄れてきている。鳴門商工会議所や大道商店街振興組合などの関係機関の自主性や主体性を尊重しながら、新たな視点、考えに基づいた事業を検討していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	例年大道商店街において実施していた、「100円商店街」、「納涼市」などがコロナの影響で開催が厳しくなっている。新しい生活様式を参考に、実施可能なイベントを模索する。			
	令和3年度	前年度の実施内容・結果を基に新規事業等も視野に見直し、実施する。			